



平成 29 年 11 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社 ユビキタス
 代 表 者 名 代表取締役社長 佐野 勝大
 (コード 3858、東証 JASDAQ)
 問 合 せ 先
 役 職 ・ 氏 名 常務取締役 長谷川 聡
 電 話 03-5908-3451

平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間及び通期連結 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 5 月 12 日付「平成 29 年 3 月期 決算短信 (連結)」において公表した平成 30 年 3 月期(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)第 2 四半期累計期間及び通期連結業績予想値を下記のとおり修正いたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1)平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間 連結業績予想数値の修正(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

	売 上 高 (百万円)	営 業 利 益 (百万円)	経 常 利 益 (百万円)	親会社株主に帰属 する四半期純利益 (百万円)	1 株当たり 四半期純利益
前回予想 (A)	1,130	△130	△130	△159	△15 円 27 銭
今回修正 (B)	1,144	△30	8	△42	△4 円 4 銭
増減額 (B - A)	14	99	138	116	
増 減 率	1.3%	-	-	-	

(2)平成 30 年 3 月期通期 連結業績予想数値の修正(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売 上 高 (百万円)	営 業 利 益 (百万円)	経 常 利 益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1 株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	2,470	△20	△20	△93	△8 円 90 銭
今回修正 (B)	2,390	△28	12	△81	△7 円 77 銭
増減額 (B - A)	△80	△8	32	12	
増 減 率	△3.2%	-	-	-	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	1,124	△286	△286	△347	△33 円 41 銭

2. 業績予想修正の理由

<第 2 四半期累計期間の業績予想>

以下の要因により、営業利益について前回予想より改善される見込みであります。

- (a) コネクティビティ事業において、仕掛品の計上額が計画を上回る見込みであること
- (b) 組込みソフトウェア事業において既存顧客のロイヤルティ収益が計画比で増加する一方、新規案件の獲得進捗に遅れが生じていることによる外注費の一部の下期への繰り越し
- (c) ソフトウェアサービス事業においてデータコンテンツのライセンス料が増加する見込みである一方、受託開発案件の一部の遅延による外注費の一部の下期への繰り越し
- (d) ソフトウェアディストリビューション事業において人件費が計画を下回る見込みであること、等

また、ソフトウェアディストリビューション事業において、既存顧客との商流変更により売上高が減少し、営業外収益として受取補償金を計上する見込みであるため、経常利益、及び親会社株主に帰属する四半期純利益については、さらに前回予想より改善される見込みであります。

<連結通期の業績予想>

以下の要因により、売上高につきましては、前回予想を下回る見込みであります。

- (a) 組込みソフトウェア事業のうち高速起動関連の新規顧客の獲得等が想定を下回る見込みであること
- (b) ソフトウェアディストリビューション事業の第2四半期累計期間における営業外収益の計上の影響、等

損益面につきましては、以下の要因により、営業損失は若干拡大するものの、経常利益、及び親会社株主に帰属する当期純利益については前回予想より改善される見込みであります。

- (c) 上記の通り売上高が前回予想を下回る一方、営業外収益が計上される見込みであること
- (d) ソフトウェアディストリビューション事業において人件費が計画を下回る見込みであること
- (e) その他グループ全体での諸経費の圧縮による効果、等

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。